

ぴっくす

まちの話題

『自立への挑戦』

11月5日から10日までの6日間、老人福祉センターを活動拠点に『ふるさと学寮』が行われました。

これは、親元を離れた生活を通して、学校や学年の違う異年齢集団との生活の中で、自主性や協調性、積極性などを培い、心も体もたくましい人間性豊かな子どもの育成を目的に、毎年、実施しているものです。

期間中は、まず、子ども達の中からリーダーを決め、そのリーダーに従いながら、日常の清掃や食器洗いなどのほか、車椅子磨きや草取りなどのボランティア活動、大型紙芝居や合唱などの交流会などを行いました。

子ども達は、このふるさと学寮に参加して、たくさんの思い出や友人ができたとともに、自立することの難しさを学んだようです。



『三文字商店街で「歳の市」』

12月14日、15日の2日間、おおさき三文字青空市実行委員会は、商店街の駐車場を会場にして、『おおさき三文字 歳の市』を開催しました。

会場では、三文字の各商店などが出店したほか、フリーマーケットや抽選会、法律や不動産の仲介などの無料相談などが行われ、会場付近は終日にぎわいました。



『土曜日に！楽しくパンづくり』

学校週5日制対応事業として、子ども体験講座第2弾『キッズパン工房』が、保健センター調理室で行われました。

今回、定員30人を大きく上回る120人以上の応募があり、管理栄養士の益山尚子氏の指導のもと、毎回30人程の“キッズパン食人”が、それぞれ初体験という状況の中、興味津々、和やかな雰囲気で作っていました。

できあがったパンは、みんなで試食しましたが、初めて自分でつくったパンを、子ども達は嬉しそうに食べていました。

